

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 下呂特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月19日(火) 9:30~11:30
- 3 開催場所 下呂特別支援学校(多目的室)
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
- | | | |
|--------|--------|--------------------------|
| 会長 | 目次 丈太 | 佐橋工業株式会社(生産管理部長) |
| 副会長 | 長谷川 和正 | 株式会社ハウテック(総務部長) |
| 委員 | 細江 節子 | 下呂市単位民生委員児童委員協議会(主任児童委員) |
| | 今井 弘樹 | 下呂市小川区長 |
| | 今井 広一 | 加子母むらづくり協議会(教育分科会) |
| | 井口 フキ子 | 益田山ゆり園(施設長補佐) |
| | 田中 篤 | 下呂市障がい者生活相談センター(相談員) |
| | 西垣内 弘子 | 下呂市福祉部こども家庭課(対策監) |
| | 深谷 享子 | 下呂特別支援学校PTA会長 |
| オブザーバー | 田口 広宣 | 下呂市副市長 |
| 学校側 | 長瀬 朋彦 | 校長 |
| | 林 哲治 | 教頭 |
| | 熊崎 高志 | 事務長 |
| | 原 るみ子 | 小中学部主事 |
| | 小栗 毅石 | 高等部主事 |
| | 石原 さゆり | 教務主任 |

5 会議の概要

(1) 授業参観・実践発表(交流学习)の感想及び意見について授業について

- 意見1: 人と関わる力は何よりも大切であり、高校との交流学习は意義が深い。
- 意見2: 児童生徒の障がいは多様だが、同じ教科でも個々に対応している。
- 意見3: 授業の中で他の児童生徒を応援している姿が、一体感があってよい。
- 意見4: 高等部になると地域の同世代の子との関係性が薄くなるので、交流学习はよい機会となっている。
- 意見5: 前回からの児童生徒の成長を感じた。

(2) 学校評価アンケート結果と分析について

学 校： 令和6年度学校評価の結果と分析について資料にて説明

意見1： 匿名のアンケートで「あてはまらない」の評価に対して、このことかもしれないと想定で対応すると的が外れてしまうかもしれないので気を付けてほしい。

意見2： 教員の人出が足りないのではという意見があるが、実際どうか。

⇒法令に基づいて人員配置を行っているが、児童生徒の実態によっては少なく感じられる場面もあるのではないかな。

意見3： 「わからない」の項目を減らすためには、アンケートの中に例として具体的な取り組みを付け加える必要がある。

意見4： 保護者向けの通信など校外学習が目立つが、日常の学習を取り上げることで学習の意図がより伝わるのではないかな。

意見5： 生徒アンケートの中に「先生と一緒にいると楽しい」とい設問に対して、大多数の生徒が「そう思う」と回答している。これは、生徒の安心感の現れである。

(3) 作業製品の価格設定について

学 校： 新製品1点と価格の変更について説明

意見1： 新製品のバックの原材料費と価格の差が、他の物と比べて違うのはどうしてか。

⇒巾着などの類似した製品もあり、価格帯の構成を考えて値段を設定した。

意見2： 他の製品も原材料費と価格の差が一律ではないが、それはどうしてか。

⇒バザーなどで小中学部の児童生徒が購入しやすい価格帯を設定した。

意見3： 製品のマンネリ化が危惧されるが、デザインなど交流相手校の生徒と一緒に考えてはどうか。

(4) 来年度の日課について

学 校： 登校時間を10分繰り下げることと中学部、高等部の部活動の時間について変更点を説明

6 会議のまとめ

- ・交流活動については、運営協議会委員より高評価を得られた。今後とも継続的に取り組み、地域の中で様々な人たちと関係を形成し、共生していく力の育成に取り組んでいく。
- ・通信やホームページなど、年々内容が充実してきたというご指摘を受けた。今後は、特別な行事だけでなく、日頃の学習風景を内容に取り込んでいく。
- ・来年度の日課については、運営協議会委員の理解が得られた。今後は児童生徒、保護者に内容が伝わるように丁寧に説明を行っていく。
- ・高等部作業製品価格（新製品）及び価格の変更について委員に意見を求め協議を行い承認が得られた。